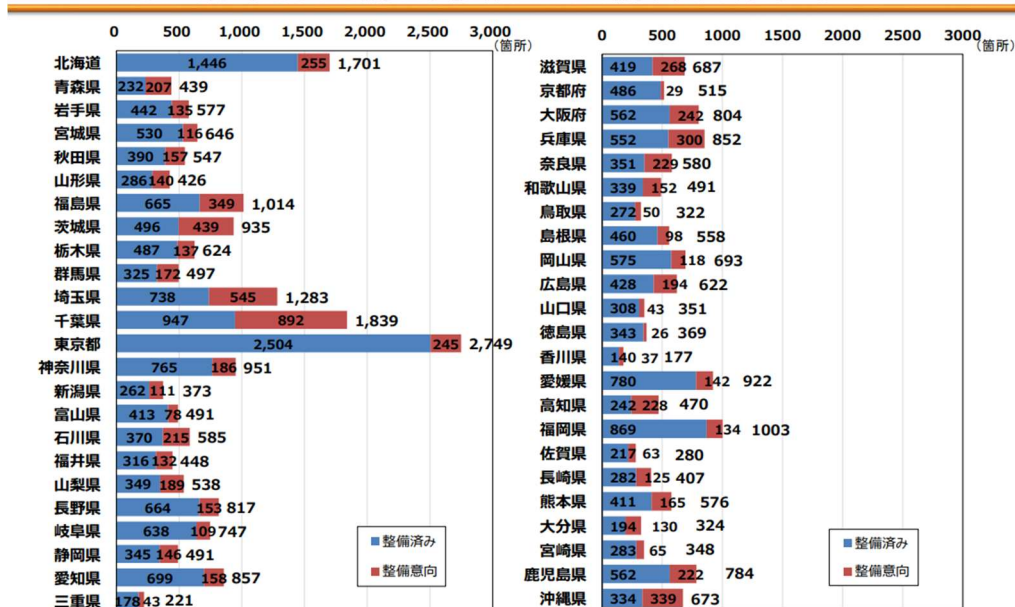


- 避難所の Wi-Fi 環境の整備

安心して暮らせる、安心して旅先として選ばれる目的地とするため、災害時の避難場所を利用する人たちの情伝達手段を確保します。

都道府県別 整備意向数及び整備済み数(グラフ)



※1 平成30年10月1日現在 ※2 平成30年度に整備予定の箇所は「整備済み」として計上

p.6

防災拠点における無料 Wi-Fi の都道府県別整備状況 鹿児島県は九州で福岡に次いで整備数が多い

(総務省「防災等に資する Wi-Fi 環境の整備計画」より)

- 公共団体・公共施設のキャッシュレス化及びインターネット申請の導入

地域にキャッシュレス文化を浸透させるために、先頭を切って、公共団体・公共施設のキャッシュレス化の導入を強化すると同時に、インターネットを通じて全施設の利用申請を可能にします。

3. 多言語対応・多文化対応の更なる普及拡大

- 飲食店や観光スポットで使用する「指さし」ツールの配布・整備

飲食店や観光スポットに、指差しで質問や注文などの意思疎通ができるポスターやフライヤーの充実をはかり、WEBなどで「言語の壁を感じない街」などのキャッチで外国人観光客の誘引をはかります。



海外旅行で人気の「指さし会話帳アプリ」(公式 HP より)